

## 平成25年度第1回機械振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1. 開催日時:平成25年6月20日(木)13:00~15:10
2. 開催場所:公益財団法人 JKA 4AB 会議室
3. 出席者:大山永昭(委員長)、金子聰(委員長代理)、岡俊子、小黒秀祐、鴨志田晃、高千穂安長、高橋優、中原秀樹、野坂雅一、藤本浩志、吉岡忍、渡辺博(五十音順・敬称略)  
(事務局)石黒会長、笹部常務理事、松川部長、松下次長、宮田次長、武藤課長、菱倉課長、菅沼課長
4. 議題: (1) 平成23年度JKA補助事業評価について  
(2) 平成26年度補助事業の考え方について  
(3) その他  
・プレゼンテーション  
一般社団法人 日本機械工業連合会  
地方独立法人 東京都立産業技術センター
5. 審議結果:
  - ・議題(1) 平成23年度補助事業の評価については、委員長一任のもと、評価作業部会長とも調整し、公表準備を行う。
  - ・議題(2) 平成26年度補助事業の考え方については了承とする。なお、平成26年度補助方針策定にあたっては、本日の意見を踏まえ、JKA事務局で補助方針(案)を作成する。
6. 意見概要:  
議題(1)平成23年度補助事業の評価について(資料1関連)
  - ①このような形で全体をまとめた評価というのは、全体の流れが見えて大変いい内容であるし、続けて欲しい。これを来年度以降のJKA補助事業の改善に役立ててもらいたい。
  - ②評価を「お手盛り」にしないためにも、客観性をもった文章の表現が望ましい。
  - ③全般を通して、一般の人にとってよりわかりやすい表現に工夫することが必要。
    - ▶「森の評価」という言葉は、一般の方には分かりにくい表現であると思われるので、説明をしたほうが良い

- ▶ 「見直し」という言葉が複数箇所で使われているが、それぞれの意味合いは異なる。見直しの具体的な内容が分かる表記をお願いしたい。
- ▶ 評価の流れについて、案内図のようなものをつけてみても良いと思う。

議題(2)平成26年度補助事業の考え方について(資料2関連)

- ①研究補助の手続きについての簡略化は、科学研究費助成事業の制度を参考にするのが良いと思う。
- ②国際競争力強化に資する標準化の分野において、規格の標準化のみならず、標準化等を議論する国際会議に対応できる人材を育てる取組みにも支援することは非常に有意義なことだと思う。
- ③製品の長寿命化については、市場経済メカニズムとしての仕組み(大量生産・消費・廃棄)が相反し障壁となる課題が多いことから、支援の対象とすることは補助事業として有意義である。

< \*本議事要旨は、(公財)JKA事務局が作成 >